

# 連続講座「日本の安全保障政策を考える」



## 講師 大内 要三さん

(練馬・文化の会共同代表、日本ジャーナリスト会議会員)

### 第2回 安保法制（戦争法）の成立で、 日本は平和になりましたか？

あの蒸し暑い夏、安保法制が国会で成立して3年が経ちました。いまや核搭載可能な米軍の爆撃機とともに威嚇飛行をする自衛隊の戦闘機。米軍の航空母艦とともに南シナ海をパトロールする自衛隊の護衛艦。沖縄離島に続々と建設される自衛隊の新基地。新たな任務を与えられた自衛隊の現状を直視します。

日時：10月27日（土）18時～20時  
会場：ココネリ（練馬駅前）研修室1・東側

### 第3回 自衛隊を強く大きくすれば、 日本は平和になりますか？

今年末、日本の安全保障政策の基本文書「防衛政策の大綱」が5年ぶりに改定されます。ここで、敵基地攻撃能力をもち、インド太平洋地域に展開する陸海空3自衛隊と米軍とがいつそう緊密に、共同司令部のもと行動する体制がつけられます。これが独立国家の「安全保障」なのか、考えてみたいと思います。

日時・11月17日（土）10時～12時  
会場：ココネリ（練馬駅前）研修室2・西側

資料代 300円

主催：練馬・文化の会

連絡先：田場 (3991)9165 hitaba@jcom.home.ne.jp